

| | | | |
|-----|---|-------|-------|
| 科目名 | 論文輪講 Practical English for Science and Engineering | 科目コード | 11367 |
|-----|---|-------|-------|

| | |
|----------|-------------------------------|
| 学科名・学年 | 機械工学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 機械工学科全教員 |
| 区分・単位数 | 学修単位科目・必履修・2単位 |
| 開講時期・時間数 | 前期，30時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他30】 |
| 教科書 | 指導教員が指定する場合がある |
| 補助教材 | 同上 |
| 参考書 | 同上 |

【A. 科目の概要と関連性】

英文の理工学書や科学技術論文等の輪講を通して，機械技術者として必要な英文読解能力と，コミュニケーション能力を高めることを目的とする。

- 関連する科目：科学英語演習（5年次前期履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|--------------------------------|-------|---------------|
| ① 文法の基礎を復習して、英文読解能力を身に付ける。 | 20% | (b3) |
| ② 科学技術の文章表現を習得する。 | 20% | (b2), (d1) |
| ③ 科学技術の事柄を、的確な英文で相手に伝えることができる。 | 20% | (d1) |
| ④ 科学技術の事柄を、英語でプレゼンテーションできる。 | 20% | (d1) |
| ⑤ 学術論文の概要を理解して、日本語で説明できる。 | 20% | (d1), (g1) |

【C. 履修上の注意】

輪講の順番に当たったときには，十分な予習を行って来ること。予習には，和訳及び英語の正確な発音を調べることはもちろんのこと，内容を日本語で説明できるように調査することも含まれる。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- 指導教員の評価（70%）【指導教員が提示する課題レポート】
- その他の教員の評価（30%）【卒業研究中間発表会に向けた講演概要の英文要旨】

【E. 授業計画・内容】

● 前期

| 回 | 内容 | 課題 |
|----|--|--------------|
| 1 | ガイダンス | |
| 2 | <p>研究室ごとに、指導教員の指導の下、英文の理工学書や科学技術論文の輪講を行う。</p> <p>また、卒業研究中間発表会に向けた講演概要原稿の英文要旨を作成する。</p> | 指導教員により随時実施。 |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | 講評・まとめ | |